



## 平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月27日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 2600  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	2,042	16.0	232	29.2	231	28.5	160	52.7
28年12月期第1四半期	1,760	36.4	180	75.9	180	73.8	105	148.0

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 166百万円 (43.4%) 28年12月期第1四半期 115百万円 (114.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	5.48	-
28年12月期第1四半期	3.59	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	5,349	3,588	63.9	116.56
28年12月期	5,355	3,568	63.5	116.09

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 3,416百万円 28年12月期 3,401百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	0.00	-	5.00	5.00
29年12月期	-	-	-	-	-
29年12月期(予想)	-	0.00	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,800	4.3	420	2.8	420	3.6	250	3.2	8.53
通期	8,200	6.2	1,060	4.5	1,060	4.5	670	1.9	22.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	30,955,000株	28年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	1,646,400株	28年12月期	1,654,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	29,306,231株	28年12月期1Q	29,255,000株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有している当社株式（平成29年12月期1Q：96,400株、平成28年12月期：104,600株、平成28年12月期1Q：150,000株）を含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の連結業績は、

売上高	2,042百万円 (前年同期比16.0%増)
営業利益	232百万円 (同29.2%増)
経常利益	231百万円 (同28.5%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	160百万円 (同52.7%増)

となりました。

当第1四半期はフィールドマーケティング事業が減収となったものの、eセールスマネージャー関連事業がそれを補い、増収となりました。利益面におきましても、増収の結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも増益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

## eセールスマネージャー関連事業

日本国内のソフトウェア投資については回復に向けた足取りがまだまだ不透明な環境のなか、当社の主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャーRemix」について、前年下期に引き続き大型案件の獲得により売上が増加いたしました。また、営業課題にフォーカスしたコンサルティング、スキルトレーニングなども需要は根強く、堅調に推移いたしました。以上の結果、売上高は1,088百万円(前年同期比43.9%増)、増収効果によりセグメント利益は182百万円(同190.1%増)となりました。

## フィールドマーケティング事業

当事業におきましては、大型案件の運用が安定したため、更なる成長に向け、これまでの店頭中心から業種や業務の幅を拡大した「フィールド・クラウドソーシング」という新たな事業コンセプトの下、新たな市場創出に向けた動きを開始しました。

当第1四半期は、フィールド活動一括受託、派遣事業などストックビジネスにつきましては堅調に推移しているものの、店頭調査等のスポット案件については前期と比較して減少したことなどにより、売上高は761百万円(同8.2%減)、セグメント利益は55百万円(同50.5%減)となりました。

## システム開発事業

当第1四半期は引き続き既存顧客の深耕と新規顧客の獲得、プロジェクト管理の徹底に努めました。売上につきましては順調に推移しているものの、人件費の増加に伴う原価率の上昇を背景に収益性は悪化いたしました。以上の結果、売上高は115百万円(同13.1%増)、セグメント利益は0.3百万円の赤字(前年同期は1百万円の利益)となりました。

## 出版事業

当第1四半期は、売上高は77百万円(同6.5%増)となりましたが、制作コストの上昇に伴う原価率の悪化を背景に収益性は悪化し、セグメント利益は4百万円の赤字(前年同期は4百万円の黒字)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産、負債、純資産の状況は、

資産	5,349百万円 (前連結会計年度末比 0.1%減)
負債	1,760百万円 (同 1.4%減)
純資産	3,588百万円 (同 0.6%増)

となりました。財政状態の分析は、以下の通りです。

## &lt;資産&gt;

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、5,349百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が130百万円、ソフトウェアが42百万円増加したものの、現金及び預金が169百万円減少したことなどによるものです。

<負債>

当第1四半期末の負債は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、1,760百万円となりました。主な要因は、未払金が136百万円増加したものの、未払法人税等が100百万円、その他の流動負債が56百万円減少したことなどによるものです。

<純資産>

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べ20百万円増加し、3,588百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益160百万円を計上したものの、147百万円の剰余金配当を実施したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は、63.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年1月30日に公表いたしました平成29年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,177,101	3,007,264
受取手形及び売掛金	1,329,305	1,459,558
商品及び製品	44,694	46,237
仕掛品	132,069	119,673
繰延税金資産	46,281	35,355
その他	136,985	152,071
貸倒引当金	△8,036	△11,084
流動資産合計	4,858,401	4,809,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,092	63,356
減価償却累計額	△46,366	△47,643
建物及び構築物(純額)	17,725	15,713
工具、器具及び備品	265,547	270,917
減価償却累計額	△208,468	△214,382
工具、器具及び備品(純額)	57,078	56,535
その他	2,916	1,084
有形固定資産合計	77,720	73,332
無形固定資産		
ソフトウェア	322,527	365,433
その他	915	915
無形固定資産合計	323,442	366,348
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	84,075	87,439
長期滞留債権	45,193	43,848
繰延税金資産	6,009	8,213
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△45,193	△43,848
投資その他の資産合計	95,584	101,152
固定資産合計	496,746	540,833
資産合計	5,355,148	5,349,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,707	320,857
未払金	349,969	486,368
未払役員賞与	30,082	-
短期借入金	100,000	101,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	56,000
未払法人税等	152,713	51,793
前受金	354,184	363,251
賞与引当金	47,052	38,586
役員賞与引当金	-	7,175
返品調整引当金	12,489	9,095
株式給付引当金	6,131	-
その他	245,883	189,265
流動負債合計	1,640,213	1,623,393
固定負債		
長期借入金	140,000	126,000
株式給付引当金	-	6,016
その他	6,136	5,522
固定負債合計	146,136	137,538
負債合計	1,786,349	1,760,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	2,461,302	2,474,887
自己株式	△253,574	△252,524
株主資本合計	3,401,588	3,416,222
非支配株主持分	167,210	172,755
純資産合計	3,568,798	3,588,978
負債純資産合計	5,355,148	5,349,911

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,760,289	2,042,790
売上原価	1,163,757	1,259,986
売上総利益	596,531	782,804
販売費及び一般管理費	416,294	549,907
営業利益	180,237	232,896
営業外収益		
受取利息	266	58
違約金収入	-	105
保険解約返戻金	-	181
助成金収入	2,365	-
その他	127	14
営業外収益合計	2,760	359
営業外費用		
支払利息	495	348
為替差損	2,222	1,227
営業外費用合計	2,718	1,575
経常利益	180,279	231,680
特別損失		
固定資産除却損	-	1,238
特別損失合計	-	1,238
税金等調整前四半期純利益	180,279	230,442
法人税、住民税及び事業税	47,829	55,565
法人税等調整額	16,540	8,721
法人税等合計	64,369	64,286
四半期純利益	115,909	166,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,753	5,545
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,155	160,610



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	115,909	166,155
四半期包括利益	115,909	166,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,155	160,610
非支配株主に係る四半期包括利益	10,753	5,545

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「返品調整引当金戻入額」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結累計期間より「売上原価」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」に含まれている「返品調整引当金戻入額」の金額は324千円であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	eセールスマネージャー関連事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	756,547	829,074	101,782	72,885	1,760,289	-	1,760,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,765	3,397	20,716	1,605	30,485	△30,485	-
計	761,313	832,471	122,499	74,490	1,790,774	△30,485	1,760,289
セグメント利益	62,922	111,321	1,990	4,080	180,315	△78	180,237

(注) 1. セグメント利益の調整額△78千円には、固定資産の調整額が47千円、棚卸資産の調整額が△125千円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	eセールスマネージャー関連事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,088,807	761,210	115,122	77,650	2,042,790	-	2,042,790
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,760	1,156	29,745	-	37,662	△37,662	-
計	1,095,567	762,366	144,867	77,650	2,080,452	△37,662	2,042,790
セグメント利益	182,515	55,138	△393	△4,253	233,006	△109	232,896

(注) 1. セグメント利益の調整額△109千円には、固定資産の調整額が△18千円、棚卸資産の調整額が△90千円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。